

## 競 技 上 の 注 意

1. 本大会は、令和3年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程、及び公認審判員規程により運営する。

本大会で使用する用器具は、公益財団法人日本バドミントン協会検定合格品とし、シャトルは令和3年度第1種検定合格水鳥球を使用する。

大会開催中に熱中症等の発生が予測される状況になった場合は、レフェリーの判断により選手の健康状態・試合進行状況等を見て、エアコンディショナーを使用する。
2. 参加申込み締切り後の監督・選手変更は、疾病、傷害等の特別な場合以外は認めない。

監督・選手に変更がある都県は、所定の様式に都県体育(スポーツ)協会会長、都県バドミントン協会会長の承認印を押印のうえ、監督会議の開催前までに、監督会議受付に提出するものとする。
3. オーダー交換について
  - (1) オーダー用紙は、大会本部用・相手チーム用・自チーム用の3枚複写のものを使用する。
  - (2) ブロック別リーグに使用するオーダー用紙は、監督会議で配布する。
  - (3) 第1試合のオーダー交換は、両日とも午前8時40分からオーダー交換所で行う。

第2、第3試合目のオーダー交換は、会場アナウンスにより連絡する。
  - (4) 7月4日(日)のオーダー用紙は、ブロック別リーグ終了後大会本部で配布する。
4. 練習について
  - (1) 練習時間及び練習コートの割り当ては、監督会議の資料による。
  - (2) 試合開始前の空コートでの練習は、認めない。
  - (3) 試合開始前の練習は、各試合ごとにダブルスはパートナー同士、シングルスは同じチームの選手との2分間以内の練習を認める。
5. インターバルについて
  - (1) すべてのゲームにおいて、先行するサイドが11点になったとき60秒を超えないインターバルを認める。また、第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。
6. ベンチ席について
  - (1) ベンチ入りは、当該チームの登録された監督・選手のみとする。
  - (2) 7月3日(土)のブロック別リーグ戦では、各ブロックの若い番号のチームが主審から見て右側のベンチとする。
  - (3) 7月4日(日)の決定戦では、Aブロックのチームが主審から見て右側のベンチとする。

## 7. 競技の服装について

- (1) 競技に着用するウェアは(上衣)背面中央には、縦6～10cm、横30cmの範囲で都県名を明示すること。都県名の文字は漢字とし、文字の大きさについては公益財団法人日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。また、ウェア(上衣)背面の色と都県名の色が明確に区別できるものとする。
- (2) 色付き着衣を使用する場合は、公益財団法人日本バドミントン協会審査合格品とする。
- (3) 監督についても、競技の品位を損なう服装は認めない。この判断はレフェリーによる。

## 8. 携帯電話・モバイル機器について

- (1) 競技フロア内では、ベンチ入りした監督・選手は、携帯電話の電源を切るか、マナーモードにすること。
- (2) 試合中、競技フロア内では、携帯電話・パソコン等、それに類似したいかなるモバイル機器も使用してはならない。

# 審判上の注意

## 1. 審判員の構成について

- (1) 本大会の審判は、栃木県バドミントン協会で行う。
- (2) ブロック別リーグ戦及び通過決定戦の審判は、主審1名、サービスジャッジ1名、線審2名、得点掲示1名で構成する。

## 2. 主審が認めたプレー中の中断以外は、プレイヤーはプレーを故意に遅らせたり中断してはならない。

## 3. 審判員の判定に対して疑問がある場合は、当該プレイヤーと監督に限り質問することができる。ただし、抗議あるいは異議であってはならない。

## 4. シャトルの交換は主審が決定する。なお、一対抗戦内は同一銘柄とし銘柄の変更はしない。